

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解教育の推進を図り、国際色豊かな学習環境を整えグローバル社会生き抜く人材の育成を目指す。</li> <li>「総合的な探究の時間」をとおして自ら課題を発見し解決する力を育成する。</li> <li>組織的な授業改善を推進し「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を重視した教育活動の充実に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①-1 国際理解教育、指定事業としての総合的な学探究の時間を体系化する。</li> <li>①-2 英語運用能力向上に向けた手だてを実施する。</li> <li>②「思考力・判断力・表現力」をテーマに授業を協働作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①-1 特色ある活動を通して、身に付けさせたい能力を整理し、横断性を明確化する。</li> <li>①-2 実用英語検定取得意欲向上のための英語指導を組織的に実践する。</li> <li>②教科・科目に求められる「思考力・判断力・表現力」を踏まえた授業研究を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①-1 身に付けさせたい能力と到達度を提示することができたか。</li> <li>①-2 組織的な検定意欲引き出しのための方策が確立したか。受験率はどうかであったか。</li> <li>②全職員参加による授業改善研修を実施したか。</li> </ul>					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動や特別活動等の満足感をとおして豊かな人間性を育み、規範意識の向上など社会性の醸成を目指す。</li> <li>様々な困難や課題を抱える生徒を含め、すべての生徒一人ひとりの個に応じた生徒支援体制の充実に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①-1 特別活動の意義を理解し、生徒自身が達成度を分析する</li> <li>①-2 部活動継続性重視し、学校生活の充実に図る。</li> <li>②組織的な支援体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①-1 主体的な行事運営と達成状況の評価の実施</li> <li>①-2 生徒と協働し、先を見通した活動計画で活動内容の充実度を図る。</li> <li>②各種アンケートの目的を明確にし、支援体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①-1 生徒による発信や自主評価が実施できたか。</li> <li>①-2 部活動継続率はどうかであったか。</li> <li>②いじめおよびサポートドックアンケートの対応結果の分析</li> </ul>					
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとり学校生活の高い満足感を目指し、自らの志に基づく進路選択の実現に向けた支援体制を充実させる。</li> <li>教科指導等と進路指導との連携を図り、キャリア教育を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①早期進学志望を引き出し、志に基づく進路選択を実現させる。</li> <li>②進路選択の視点から教科学習への意欲を引き出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報提供の機会を見直し、体系的な指導計画を整備する。</li> <li>②学習習慣の確立および進路選択へのニーズに合わせ講習・補習・検定試験を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①指導計画を改善することができたか。</li> <li>②家庭学習時間の分析および講習・補習の開講状況と受講者数および検定受検者数</li> </ul>					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携・協働で安全教育を推進し、社会参画意識を高める。</li> <li>・コミュニティー・スクールをいかし、生徒と地域で学校づくりを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①安全・防災教育、美化意識をさらに醸成し、身の回りと地域の安全を意識させる。</li> <li>②地域からのニーズを理解し、有馬高校生のあべき姿を整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①防災訓練および美化委員会活動や地域清掃を見直す。</li> <li>②生徒とともに地域の意見を織り交ぜ校則を見直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校美化が改善したか</li> <li>② どのような有高生の姿が議論されたか。</li> </ul>					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の人格的資質・専門性の向上を図るとともに学校における不祥事防止を徹底する。</li> <li>・働き方改革の推進に向けて、組織的な取組を進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校DX化を推し進め、働き方改革につなげる。</li> <li>②わいせつ・個人情報の取扱いを重点目標に据え、対策改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①-1 ペーパーレス可を推進し、情報管理を徹底する。</li> <li>①-2 スクラップまたは統合できる業務について職員企画を募る。</li> <li>②名札着用、適切な生徒との距離感を学校全体に周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①-1 マチコミやフォームが積極的に活用できたか。</li> <li>①-2 学校全体で業務整理を考えることができたか。</li> <li>②職員・生徒ともに倫理指針を理解させる機会を設定したか。</li> </ul>					